

4. 6 分析対象種の確認状況の経年比較

分析対象種の確認状況の経年比較（その1）

凡例 : 確認、× : 未確認、- : 1~3巡目は河川環境管理システムに調査データが未格納、4巡目は調査未実施

注1) 1~3巡目のデータは、種名等について真正化され、河川環境管理システムに格納されている調査データを対象とする。

^{注2) 調査の継続性の観点から、経年比較のため対象は1級河川の直轄区間とし、指定区間および2級水系は対象外とした。また、昭和8~13年度は、平成4~9年度と同様に、平成42~47年度。}

注3) 1～3巡の区分については、原則として1巡目：平成2・3～7年度、2巡目：平成8～12年度、3巡目：平成13～17年度としたが、各河川の実施状況のバランスに応じて適宜区切りを調整した。各調査項目における具体的な巡回の区切りは調査実施状況の欄に記した。

分析対象種の確認状況の経年比較（その2）

凡例 : 確認、×: 未確認、-: 1~3 巡目は河川環境管理システムに調査データが未格納、4 巡目は調査未実施

注1) 1~3巡目のデータは、種名等について真正化され、河川環境管理システムに格納されている調査データを対象にした。

^{注1)} うなづきのノートは、桂古寺等について正し正しくい、川辺環境省管署へアハに附載されている前記ノートを調査の継続性の観点から、経年比較のとりまとめ対象は級河川の直轄区間とし、指定区間および2級水系には

注3) 1～3巡の区分については、原則として1巡目：平成2～3～7年度、2巡目：平成8～12年度、3巡目：平成13～17年度としたが、各河川の実施状況のバランスに応じて適宜区切りを調整した。各調査項目における具体的な巡回の区切りは調査実施状況の欄に記した。